

さぼせんニューズレター

2009 年春号 Vol.23 <http://business2.plala.or.jp/support/>



市民活動フォーラム 始めてみる楽しさを語る

◆市民活動フォーラム 2009「若い世代のまちづくり」	2
◆カフェ14 インスタディツアー報告会	2
◆企業とNPOの交流サロン・「報酬が支払える NPO になるために」の本を紹介	3
◆新しい機器・レターケース・ロッカーの紹介	3
◆思いを新たに 市民活動サポートセンター指定管理者 2 期目スタート!	4
◆平成 21 年度(2009 年度)市民活動サポートセンターの管理業務収支予算書	4

☆第 7 回茅ヶ崎市民活動フォーラム(若い世代のまちづくり)によせて☆

NPO 法が制定、施行されて 11 年、平成 20 年度現在、茅ヶ崎市に 62 の NPO 法人が活動中で、茅ヶ崎市民活動サポートセンターのガイドブック掲載団体数も、238 と年々増加傾向にあり嬉しい限りです。一方活動を続けるにあたり課題も種々見えてきました。アンケートなどによりますと“後継者が見つからない”という意見が多く、このままでは活動を続けることに支障が出るという団体も見受けられます。活動を始めて 10 年余、代表者をはじめ活動されている方々の年齢構成が高くなったことも、一因と思われます。後継者の受け皿のひとつとして現在活動中の若い世代を紹介しました。市民活動に対して、新しい視点よりの身近な活動を、楽しく、世代を超えて懇談・交流しました。

反省点として、交流の時間が短い、従来の市民活動に若い世代が参加するには壁がある。などの意見もありましたが、彼らのキラキラと輝く未来を信じた言動に会場は、熱気に包まれ、今後も是非このような企画を続けて欲しいなど期待の言葉に元気をもらったフォーラム 2009 でした。今後も若い世代とのもっと深い交流を続けたいと思います。別室で小学生のための木工教室を(社団)日本DIY協会のご協力により開催いたしました。いろいろのかたち、大きさの木を使って、新しい物づくりの挑戦に教室より子どもたちの歓声が聞かれました。

茅ヶ崎市民活動フォーラム 2009
話してみよう カタチいろいろ

若い世代のまちづくり



1月17日、第一部の市民活動げんき基金助成申請団体募集説明会に引き続き、第二部、「話してみようカタチいろいろ「若い世代のまちづくり」をテーマに市民活動紹介を通じて始めてみる楽しさ～しゃべり場～として身近な話をきっかけに活動の楽しさを話し合い、世代を超えて交流懇談しました。

参加者の方々よりまちづくりには地域交流の大切さを実感した、このような場をふやしていきたい、若者だけで意見交換するなど長い時間を使って話し合いたかったなどの声をいただくとともに若い世代への応援の輪が広がりました。

参加者 第一部38名、第二部65名



▲同時開催■
「小学生のための木工教室」
15名の子供たちの元気で楽しそうな声が部屋中に響き渡りました。
協力：社団法人DIY協会

げすとすぴーかー



青木俊介氏
関東学院大学 3年



渡邊奈津季氏
国土館大学 3年



山本高大氏
(特非)セカンドブックアーチ



鐘ヶ江麻里子氏
(特非) 松の実会精神障害者
地域作業所みらまーる

高校の授業がきっかけ
ボランティア経験から
得た喜び

高校時代からボランティア
活動、今回はフォーラム
ポスター作成に挑戦

本のリサイクル収益を児
童福祉に寄付、コミュニテ
ィビジネスの創出も

作業所での調理実習や廃油
石鹸づくりを通して障がい
者の自立と社会参加を支援

インドスタディーツアー報告会

1月31日(土) 参加者44名
「カフェ14・インドスタディーツアー報告会」

市民活動



文教大学湘南キャンパス林ゼミナールの
学生と林薫教授にご協力をいただき
サポートセンターにて行ないました。

今回のカフェでは普段あまり聞く機会がない国際開発援助の現状を、若い学生の現地での体験を通して報告していただきました。

内容は、地域住民による衛生的な水の管理・運営、女性自助グループの活動など多岐にわたり、専門的な部分も分かりやすいように配慮された報告でした。発表後は、数グループにわかれ意見交換を行いました。どのグループも活発に意見を交換している姿が見られ、また学生たちが真剣にそれに応えているのが印象的でした。予定終了時間を少し過ぎるほど楽しいひと時となりました。

企業とNPOの交流サロン

1月29日、神奈川県主催、藤沢市市民活動推進センター・湘南地区NPOサポートグループ（藤沢・茅ヶ崎・平塚・横浜）の協力で「企業とNPOで地域貢献 in 湘南」が開催されました。

企業の社会貢献活動の事例として、藤沢市市民活動推進センターの仲介によるニッセイ・ライフプラザ湘南セミナールームの貸出し、関西ペイント(株)と平塚をみかく会の落書き消し、山武(株)とNPO法人コネット湘南の中古パソコン改修・寄贈、中央労働金庫・NPO助成プログラム・NPO事業サポートローンなどを紹介。今後、企業との協働および中間支援機関（市民活動サポートセンター等）の支援を期待する意見が多く出されました。



冊子「報酬を支払えるNPOになるために」 非営利組織にペイドワークを創り出すための7つのヒント・9つの事例を紹介



3月15日、先駆的で着実な活動を進め、有償・有給の働き方を模索するNPOにスポットをあてた「報酬が支払えるNPOになるためにフォーラム」が、かながわ県民センターにて開催されました。主催したのは「非営利ペイドワーク創出研究会」。この日に向けて刊行準備してきた冊子「報酬を支払えるNPOになるために」も披露されました。

冊子ご希望の方は、サポートセンターまでお問い合わせください。（頒価 500 円）

新しい機器が入りました



印刷機

写真・画像の印刷仕上がりがアップ。黒色・茶色・緑色で印刷できます。
1製版500枚まで100円。



紙折り機

早くてきれい。枚数設定ができA3まで折れます。
（二つ折・片袖折・三つ折（内・外）四つ折）
♥7月より有料化の予定



A3 カラーレーザープリンター

（4月中旬・NPO法人イーパーツより寄贈予定）
高速・連続プリント可。
実費



ページセッター（丁合機）

最大で12枚。セットした書類があっという間に冊子に！総会資料づくりが楽になります。

♥無料

団体専用ロッカー・レターケース使用のご案内



用紙などの保管に便利。「小」は空きがあります。
小 48個→200円/月
大 12個→400円/月
利用期間は1ヶ月～1年まで。



内部連絡や他団体との情報交換に活用。サポートセンター気付レターケース番号で郵便物・FAXの受取も仲介します。

♥無料

思いを新たに サポートセンター指定管理者 2 期目スタート! 2009 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日

2005年4月から市民活動サポートセンターの指定管理者として管理運営を行ってきた業務は2009年3月31日で終了しました。この4年間、市民活動団体ガイドブック掲載団体は238団体になり、年間346日、一日12時間開館するなかで延べ利用者数は10.8万人、印刷機の利用は850万枚に達しています。「親切・丁寧で気持ちの良い接客」、「便利で使いやすい施設・設備等の工夫・維持」をモットーに「施設提供型」の支援に力を入れてきました。

2005年より市民活動を財政的に支援する「市民活動げんき基金」が創設され、2006年にはNPOと行政との協働推進事業がスタートし、NPOが市民の共感と信頼を得るために情報公開の必要性が高まってきました。しかしながら、個々のNPOの活動や情報をわかりやすく十分に発信しているとは言えないのが現状です。

これからの4年間は、NPOが地域課題の発見やその解決に必要な力を蓄えて、行政や企業等との連携の絆を深め協働に取り組むための相談機能も充実し、「情報収集・発信型」の支援を強化していきます。

▶▶▶管理運営の基本姿勢◀◀◀

◆市民の思いや願い、知恵が集まる「ひろば」として

- 誰もが利用しやすく集える場、共に学ぶ場をつくります
- 若い世代も軽やかに参加しやすいしかけを工夫します
- これからも、地域の人々の想いを引き出す、掘り起こす黒子役になります

◆「情報収集・発信と協働の拠点」として

- 情報収集・発信の支援に力を入れます
- 分野や活動スタイルなどが違う主体をつなぎます
- 多様な価値観の違いを認めあい、協働によるまちづくりのコーディネートを行います
- 事業企画等に市民参画のしくみをつくります（実行委員会形式等）



平成 21 年度(2009 年度)市民活動サポートセンターの管理業務収支予算書

収入の部		単位：円
指定管理料	16,839,000	
ロッカー収入	140,000	
公衆電話収入	11,000	
事業収入	12,000	事業参加費など
収入合計	17,110,000	



支出の部		
人件費	10,033,000	常勤2名・非常勤8名・アルバイト1名の給与 法定福利、障害・賠償責任保険料など
主催事業費	560,000	企画運営費・講師謝礼
管理費	2,758,000	一般管理費・消耗品費・租税公課・郵送費・印刷費ほか
機器管理費	940,000	印刷機2台・コピー機・紙折機リース料 印刷機・パソコン・プリンター保守料
光熱水費	1,115,000	電気・水道料
通信費	325,000	電話・インターネット料
施設維持管理費	1,379,000	清掃・空調設備・警備・自動ドア・消防設備委託料
支出合計	17,110,000	

下記の事業は実行委員会形式あるいは市民活動団体との共同企画を予定しています。

NPO 講座、団体交流・懇談会、市民活動フォーラムなど